

## 第5学年A組 学級活動（人権・同和教育）学習指導案

### 1 主題名 立場を考える

題材名「いろいろな見方・考え方」

### 2 目標

- 他人の立場になって、いろいろなものの見方や考え方を理解し、尊重する態度を育てる。

### 3 本時指導の考え方

- 本学級の子どもたちは、クラスのどの友達とも協力してグループ活動ができる。また、友達のよさを認め、友達が失敗してもそれを許すことができる場合が多い。

しかし、友達関係の問題によって、相手を非難し、自分を正当化しようとする場合がある。その影響で相手によって態度を変えたり、いくつかの友達グループが対立関係になるときもある。

このような問題が起こったとき、問題を解決したり、対立関係を深めないコミュニケーションの方法を学級活動「けんかにならない話し合いの仕方」に学び、その学習以前よりも、自分のコミュニケーションについて見直している子が半数いることが、この学習前後のアンケート調査比較でわかった。

- 誰かと人間関係を結び、ともに何かしようとするとき、何か問題が起きたり、自分と相手とが対立することは、避けて通れないことである。自分とはちがう人間である他者と何かいっしょにしようとするれば、物事についてのお互いの見方や考え方が、必ずしも同じになるとは限らないし、逆に同じになることのほうがまれであろう。

このようなとき、意見の不一致や対立が相手への攻撃や非難に向かわず、問題そのものの解決に向かう、自分と他者との見方・考え方の妥協・修正の在り方としての他者の見方や考え方のとらえ方を学ぶことは、多様な立場や属性をもつ他者との関係を、深みのある豊かなものにする上でとても重要である。

- 本時は、対立の原因となる意見の違いがあるとき、相手の意見をどのように聞き、相手の意見や態度が変わるのはどういうときかを、小グループの話し合いをしながら理解する時間である。

集団の中で意見の対立があるとき、それぞれの意見を尊重しながら、対立を軽減するためには次のような点に気をつけることが必要である。

- ①対立するそれぞれの立場を明確にする。
- ②その立場に立つ理由を明確にする。
- ③相手の立場や理由を、相手になったつもりで受け止める。
- ④自分と相手の意見の違いを、その立場や理由から理解する。
- ⑤相手を非難しないように気を付けて、それぞれの意見のよさを考える。

以上のような点を、話し合い活動の中で意識させるために、テーマにそった話し合い活動を位置づける。

話し合いのテーマは、立場が明確に、また多様になるように、子どもたちにとっても身近で、経験のあることについて設定し、「ケンカしたときたたくのはしかたない」というテーマにする。

このテーマでの話し合いで、①の支援として、自分の立場を、「そう思う」「まあそう思う」「ちょっと反対」「絶対反対」の4つの中から選択し、4つの色の立場カードから自分の立場の色を選ぶ。また、②の支援として、理由をそのカードに書かせる。

話し合い活動は、自分の意見と近い小グループから行い、徐々に自分と対立するグループでの話し合いに移行する。いろいろな立場の人との話し合いにより、③④について、相手の立場について考えやすくすることができると思う。

小グループでの話し合いでは、「ケンカにならない話し合いの仕方」で学習した、相手を非難しない非攻撃的自己主張（アサーション）を想起させる。また、机を使わず、椅子だけ教室に配置し、話し合いの小グループを作りやすく、立場を変えたときに自由に移動できるようにする。

小グループでの話し合いをいくつかした後、全体で話し合いをしてどんなようだったか、話し合いの感想などを発表する場を位置づける。その中で、⑤のように相手の意見のよさに着目できるように、意見が変わった児童の感想を中心に紹介する。自分で相手の意見のよさに気付いた児童を賞賛することで、相手の立場に立ち、相手のものの見方や考え方を意識した話し合いをできるようにしていきたい。

#### 4 日時・場所

平成17年10月24日(水)5校時（G研検証授業）

#### 5 展開

配時	学習活動	支援・指導の工夫	資料ほか
	1.今日の学習のめあてを知る。	○「A国 VS B国」の話し合いを想起させ、立場がちがった場合の話し合いについて意識づける。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           他の人の立場や理由を考えて、話し合う         </div>		
	2.テーマにそって、いろいろな立場の人と話し合う。 テーマ		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           ケンカしたときたたくのは仕方ない         </div>		

<p>(1)テーマについて「そう思う」「まあそう思う」「ちょっと反対」「絶対反対」のどれかに自分の近いところを選ぶ。</p>	<p>○それぞれの立場を決め、理由をカードに記入し、それぞれの立場のボードのあるグループへ移動する。</p>	<p>立場ボード 理由カード</p>
<p>(2)同じ意見のもの同士話し合う。</p>	<p>○最初は同じ意見同士グループを作り、意見をまとめる。ここで自分の立場とその理由を明確にする。</p>	
<p>(3)意見が隣り合うもの同士（「そう思う」と「まあそう思う」、「ちょっと反対」と「絶対反対」）で話し合う。</p>	<p>○意見の似てるところ、共通点を見つける。立場的には同じながら、立場の強さに違いがあるのは、どのような理由の違いからかを明確にし、立場と理由の関係について意識づける。</p>	
<p>(4)意見が反対のもの同士（「そう思う」と「絶対反対」、「まあそう思う」と「ちょっと反対」）で話し合う。</p>	<p>○意見の根拠となる考え方のちがいをを見つける。話し合いの結果意見が変わったら、変更してもいいことにする。 ○既習の相手を非難しない、ケンカをしない話し合いの仕方想起させる。</p>	
<p>3.意見を変えなかったり変えたりする理由を全体で話し合う。</p>	<p>○それぞれの考えや意見には理由があることを理解し、他人の考えや意見を尊重することの大切さに気づくことができるようにする。</p>	

### 立場（理由）カード

<p>そう思う 理由</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	<p>ちょっと反対 理由</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
<p>まあそう思う 理由</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	<p>絶対反対 理由</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>